

露地栽培種なしキンカン「宮崎夢丸」のジベレリン散布処理による着果安定

1番花開花盛期に、ジベレリン300ppmを散布処理することで着果が安定します。

背景・目的

- 種なしキンカン「宮崎夢丸」は、樹勢が強いため結果が安定しません。
- 様々な品目で着果安定効果のあるジベレリンを、1番花開花盛期に散布処理することで、着果安定効果がえられるか検討しました。

成果の内容

- ジベレリン300ppm散布処理により、着果率、着果枝率が向上します（表1）。
- ジベレリン散布処理によって、2番花の着花数は減少傾向、3番花の着花数は減少します（表2）

表1 露地栽培におけるジベレリン300ppm散布処理が着果率に及ぼす影響

年度	試験区	1番花（果）				2番花（果）				3番花（果）			
		花数		結果数（結果率，結果枝率）		花数		結果数（結果率，結果枝率）		花数		結果数（結果率，結果枝率）	
		個	個	%	%	個	個	%	%	個	個	%	%
2019	GA処理区	10.7	2.3	(21.5 , 96.7)		2.7	0.3	(11.1 , 33.3)		-	-	(- , -)	
	無処理区	12.9	0.8	(6.2 , 53.3)		5.7	0.4	(7.0 , 40.0)		-	-	(- , -)	
	有意性	n. s.	*	-	-	n. s.	n. s.	-	-	-	-	-	-
2021	GA処理区	16.0	2.2	(13.5 , 82.5)		0.3	0.2	(46.2 , 5.0)		1.0	0.2	(15.8 , 5.0)	
	無処理区	12.6	0.1	(0.8 , 10.0)		1.2	0.2	(14.3 , 13.3)		6.4	1.1	(17.3 , 55.0)	
	有意性	n. s.	**	-	-	n. s.	n. s.	-	-	**	**	-	-
2022	GA処理区	11.7	2.0	(16.8 , 76.7)		0.5	0.0	(0.0 , 0.0)		2.5	0.1	(3.9 , 10.0)	
	無処理区	12.9	0.2	(1.5 , 13.3)		1.8	0.0	(0.0 , 0.0)		22.1	1.3	(5.7 , 40.0)	
	有意性	n. s.	**	-	-	*	n. s.	-	-	**	**	-	-

表2 露地栽培におけるジベレリン300ppm散布処理が収量及び果実品質に及ぼす影響

年度	試験区	1樹収量	横径	果実重	果皮色 ^z	果皮糖度	果汁糖度	クエン酸
		kg	mm	g	(CC値)	(Brix)	(Brix)	wt%
2021	GA処理区	1.6	30.4	17.6	8.0	21.5	18.8	0.57
	無処理区	0.4	29.3	15.3	7.5	20.6	17.6	0.60
	有意性	n. s. ^y	* ^y	** ^y	n. s. ^x	n. s. ^y	n. s. ^y	n. s. ^y
2022	GA処理区	0.1	21.7	6.7	4.0	18.8	15.6	0.61
	無処理区	0.2	22.7	8.5	3.1	19.1	14.5	0.41
	有意性	n. s. ^y	* ^y	** ^y	n. s. ^x	n. s. ^y	n. s. ^y	** ^y

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 「宮崎夢丸」は、1番花開花盛期にジベレリン300ppmを散布処理することで、1番果着果率の向上につながるため、安定生産が期待できます。
- 普及対象地域 県内の「宮崎夢丸」栽培地域一円

留意点

- 1番花開花盛期については、園全体の開花が十分量での散布処理となります。着花数が少ない状況での処理は、以降の着花が少なくなるため注意が必要です。